

「レイン・ノイズ」

ハッシー (男) サッカー部のムードメーカー
マコト (男) 野球部のエース
スミ (女) マネージャー

SE 雨

マコト 「毎日雨か。ザーザーうるせーわ」
スミ 「梅雨だもん。湿気すごくて髪とか…マコトは坊主だから関係ないか」
マコト 「うっせーな。1ヶ月もすれば坊主ともお別れだ」
スミ 「甲子園、行けるかな。」
マコト 「…さあ。」
スミ 「あんた、エースなんだからシャキッとしてよね…！甲子園連れて行くくらい…」
ハッシー 「お、バカカップル。野球部は練習休みか？」
マコト 「付き合っただけし、今日は休み。」
スミ 「ハッシー、サッカー部は？」
ハッシー 「休みだな、昨日雨の中で試合したから。」
スミ 「雨の中で？大変だねえ…」
ハッシー 「ま、野球部と違って優勝目指して…ってマネージャーとエースの前で言うことでもないか。わりーわりー」
スミ 「いいのいいの、どうせウチのエースはこんなだから」
マコト 「うるせえな…」

SE 走り出す

スミ 「ちょっと、マコト？…外雨だよ！？」

SE 傘もささずに雨の中

マコト(M) 「なんだよ、俺だって本当は甲子園とか、口にしたいくて。でも、自分もチームもそんなレベルじゃないって…わかってんだよ」

ハッシー 「おい、バカ。そんなとこいるとプールの洪水に飲み込まれんぞ」
マコト 「んだよ。うるせーな…雨も、周りも…うるさいんだよ！ほっといてくれよ！」
ハッシー 「おおグレてんなあ。どうせしよーもないこと考えてんだろ。」
マコト 「お前には…。スミにも…どうせわかんねーよ。勝ちたくても勝てない奴の気持ちなんて…」
ハッシー 「はあ…なに雨でセンチメンタルになってんだよ。ちょっとこい」
マコト 「おい、引っ張んな！そっちプール…！」

SE 水に飛び込む

マコト(M) 「投げ込まれた体は、プールに沈む…。冷たくて、苦しくて…でも、周りの音が一気に消えた。ノイズが、消えた。」

マコト 「っは！！おま！死ぬぞ！？」

マコト(M) 「プールサイドに立つハッシーは笑っている。悪魔か、コイツは。」

ハッシー 「雨、くだらねーだろ。プールで濡れちまえば、もういいかって吹っ切れる。もっとシンプルに生きろよ、勝ちたかったら勝つ。努力する。それでいいだろ。」

マコト 「…ああ。そうかもな」

ハッシー 「風邪引くしあがんど、手、貸せよ」

マコト(M) 「たしかに、水の中は…悪くなかった。吹っ切れた。意外と世の中はシンプルなのかもしれない。だけど」

ハッシー 「よし、あげるぞ…っておい引っ張ん！？」

マコト 「カッコつけんな、バーカ！！」

SE 水に飛び込む音

終